

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	宮崎県男女共同参画センター
指定管理者	特定非営利活動法人 みやざき男女共同参画推進機構
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	総合政策部 生活・協働・男女参画課

1 施設利用状況

指標	R4	R3	R2	増減理由等
センター(1階)利用者数	6,530	6,604	5,995	ポストコロナ期に移行する中で、行動制限が緩和され、研修室・交流室の利用者数が伸びた。相談窓口の利用者や啓発事業の参加者数は微減しており、他の窓口を相談先を選ぶ人が増えたり、他のイベントや研修会に流れたりしたことが考えられる。
研修室・交流室(2階)利用者数	1,864	1,355	1,390	
相談窓口利用者数	1,566	1,676	1,561	
啓発事業参加者数	4,773	4,871	3,773	
コメント	今後は啓発事業の1回あたりの参加者数を増やせるよう、魅力ある講座を開催していきたい。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R4	R3	R2	支出	R4	R3	R2
指定管理料	34,307	34,307	31,056	管理費	24,983	23,617	22,056
				事業費	9,354	10,230	8,906
合計(①)	34,307	34,307	31,056	合計(②)	34,337	33,847	30,962
収支差額(①-②)	-30	460	94				
コメント	事業計画に則った効果的・効率的な事業及び運営が行われており、適正に執行されている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃。定期清掃(毎週土曜日) 各室のフロアワックス清掃
	保守・点検	(空調・電気等の機械設備は財産総合管理課が所管)
	警備	(県の警備委託会社による巡回警備)
	修繕	(県庁9号館の設備修繕は財産総合管理課が所管)
	備品等管理	備品点検(年2回)
	安全対策	危機管理マニュアル整備、消防訓練の実施
	その他	廊下の陳列棚の整備、高齢者・妊婦・子ども連れ用駐車スペースの管理
企画運営業務	サービス提供体制整備	図書類の充実・郵送及び施設併設の無人受け渡しBOXによる図書類の無料貸出。行政や登録グループ・関係機関への活動支援。パネル等掲示物の貸出と提供。広報誌とホームページの充実。ホームページは利用者にわかりやすいようリニューアルを行った。講座等参加者へのアンケート調査実施。Facebookページの運営。センター利用促進のためのチラシとカードを作成し、近隣施設等に配布・設置。公式LINEアカウント及び令和3年度に開設した公式インスタグラムアカウントで講座・図書情報等を案内。
	イベント等ソフト面充実	啓発講座(37回)、講師派遣(28回)、職員派遣(10回)、総合相談(月曜～土曜 9時～17時 ※土曜は16時30分まで)、専門相談(法律相談月1回、こころとからだ相談月1回)、男女共同参画センターネットワーク会議(1回)、県内各地でのパネル展開催。マスコミ各社への情報提供。市町村等からの相談にも積極的に対応している。また、総合相談について、面接相談・電話相談に加えて新たにメール相談に対応している。啓発講座について、新しい生活様式に対応して講座のオンライン開催やオンデマンド配信に対応している。その他「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせた啓発イベントの実施や映画館と共催での一時保育付き映画上映会の開催、シニア・子育て世代のつどいの場を開催。「赤ちゃんの駅」登録。生理用品BOXを設置し寄付を募集・配布を行った。
	施設設備等ハード面充実	おむつ交換台の設置。キッズスペースの整備。県庁9号館女子トイレへの生理用品の設置及び男子トイレへのサニタリーボックスの設置。
	その他	消耗品及び印刷物の発注を原則として県内業者に限定。エコ商品購入。
管理運営体制	運営評価委員会の開催(年2回)。職員の資質向上のための所内研修。	
コメント	維持管理業務については、適正に管理が行われている。企画運営業務については、館内での講座実施だけでなく、地域に向いての講座や講師派遣、自宅から参加できるオンライン講座を行っている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	講座実施後のアンケート調査
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
講座実施後のアンケート調査では、ほとんどの受講者が「満足」と回答しており、非常に高い評価を得ている。	今後もより充実した事業実施に努める。
講座のオンライン開催について、様々な理由から「オンラインだから参加できた」という意見と、「対面でない」という意見をいただいた。	オンライン講座をセンターの研修室で配信し、自宅でのオンライン視聴が難しい方に配慮した。

5 総合評価

評価コメント	コロナ禍の中においても、様々な層を対象とした講座をオンラインで開催する等、啓発事業を着実に実施するとともに、各種相談にも丁寧に対応しており、利用者からの評価は高く、本県の男女共同参画推進のための学習・交流の拠点となっている。また、ホームページやSNS、マスコミ等を積極的に活用するとともに、近隣施設等に利用促進のためのチラシやカードを配布するなど、広報や情報提供に努めている。さらに、新たな社会問題としてクローズアップされた生理の貧困問題についても、県内でいち早く取組みを行うなど、積極的な姿勢で活動している。
今後の課題と対応	講座アンケート調査の結果等から利用者のニーズを的確に把握し、継続利用者を増やすとともに、利用しやすい環境づくりや広報の強化・工夫等を行い、新たな利用者の獲得につなげる必要がある。